

大島遺跡に見る

蝦夷(エミシ)社会の変容

Transformation of "Emishi" Society in Ooshima Site

会場／盛岡市遺跡の学び館 企画展示室

開館時間／午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日／毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は翌平日）、毎月最終火曜日、年末年始

入場料／一般200円（団体20名以上160円）、小中学生100円（団体20名以上80円）

※小学生未満、市内在住65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

後援／岩手考古学会、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、時事通信社盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局

共同通信社盛岡支局、デーリー東北新聞社、盛岡タイムス社、岩手日日新聞社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手

めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、岩手ケーブルテレビジョン、エフエム岩手、ラヂオ・もりおか、情報紙ゆうゆう、月刊アキユイト



会期：2023.10.7（土）▶ 2024.1.21（日）

大島遺跡に見る 蝦夷(エミシ)社会の変容



炭化材が出土した竪穴建物後跡



石帯具(鉈尾)

大島遺跡は、新野球場「いわて盛岡ボールパーク」(きたぎんボールパーク)の北西近隣に所在する、大規模な古代集落です。盛岡市中央卸売市場(新市場)整備に伴い3万3,000㎡と広大な範囲の発掘調査が行われ、9世紀後半～10世紀を中心とした多数の竪穴建物群と高床倉庫、畑作地などが発見され、多数の土器群とともに木製鋸、柱材、石帯といった貴重な資料が出土しました。また、盛南地区の大規模土地区画整理事業(ゆいとびあ盛南)に伴い20年以上発掘調査が行われた各遺跡は、近接して巨大な古代集落群を形成。9世紀後半の多数の竪穴建物と高床倉庫群(飯岡才川遺跡)、10世紀の官衙的大規模掘立柱建物群(林崎遺跡・大宮北遺跡)などは、「志波蝦夷」豪族が、律令政府側の技術や文化を取り込み、新興在地有力者へと急成長していったことを示しています。この斯波郡の有力者は、「物部斯波連」と文献に記されており、官衙的建物を建築し官人化することで地域を支配、その在地有力者を鎮守府胆沢城が支配することで、北上盆地北部を間接統治していたと考えられます。

本企画展では、20年以上の艱難辛苦を乗り越えて令和4年度に報告書が刊行され、多くが初公開となる大島遺跡出土資料を中心として、9・10世紀に斯波郡北部の蝦夷(エミシ)社会が変容していく歴史について、展示・解説します。



■ 関連事業

特別講演会「胆沢城周辺における9・10世紀の古代集落—近年の調査成果から—」

日時: 11月19日(日) 13:30～15:30

講師: (一財)奥州市文化振興財団 奥州市埋蔵文化財調査センター 所長 佐藤 良和 氏

場所: 当館研修室

定員 60名、聴講無料、10月19日(木) 10:00～電話受付(先着順)

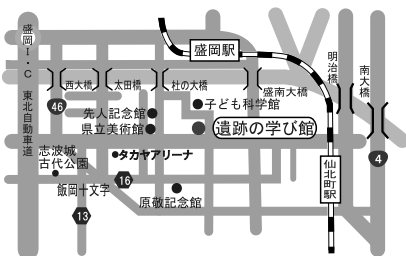
学芸講座「斯波郡北部における9・10世紀の古代集落」

日時: 10月15日(日) 13:30～15:00

講師: 当館文化財副主幹 津嶋 知弘

場所: 当館研修室

定員 60名、聴講無料、9月20日(水) 10:00～電話受付(先着順)



交通案内/JR東北本線、JR東北新幹線「盛岡駅」から車で5分、徒歩20分

東北自動車道「盛岡IC」か「盛岡南IC」から車で20分

岩手県交通バス盛南ループ200「総合プール前」、「原敬記念館前」、「県立美術館前」

バス停下車 徒歩10分

盛岡市 **遺跡の学び館**
Study Museum of Archeological Site

〒020-0866

岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1

TEL: 019-635-6600 FAX: 019-635-6605